

40 シロウオ

(ハゼ科)

兵庫県ランク:A

Leucopsarion petersii

環境省ランク:VU

種の概要

全長5 c m程度。体は細長く、半透明で内臓などが透けて見える。外見が似ていることからサケ目のシラウオと間違われやすいが、本種は頭の先端が丸いこと、脂鰭を持たないことなどで区別できる。遡河回遊魚で、沿岸に生息する。春の産卵期に海から遡上し、河川下流域の小石の下に巣を作り、産卵する。国内では北海道から九州までの各地に分布する。



写真提供:兵庫県立人と自然の博物館(撮影:増田 修)

県内における生息状況及びその他特記事項

県内では日本海側の3河川、瀬戸内海側の3河川の下流域で確認されている。

保護上の留意点

産卵場所は潮の影響のない下流域の砂礫底で、早春期に海より遡上し、繁殖を行う。産卵場所の泥化や遡上期における濁水の発生が繁殖の阻害につながっていると考えられる。また、遡上能力の小さい本種にとって、潮止堰堤の存在は産卵場所に至ることができず、脅威となる。

県内分布

加古川市、高砂市、姫路市、たつの市、豊岡市、新温泉町

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励

主要な選定理由

人為性	激減	○
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	
	孤立	
学術性	極限	○
	限界	
	希少	○

